

刊夕日五廿月五

常磐毎日新聞

定価 一部金五銭 五部金二角五銭
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇〇
 日曜 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社

母に贈る言葉

上村 哲彌

子供位可愛いものはあり
 ません。「何をとぼけて今頃
 そんな當り前のことをいふ
 のだ」と冷笑を買ふかも知
 れません。全く親馬鹿です
 が、宅に此の正月久し振り
 で女の子が生まれましたので
 今更のやうに子のいとさ
 を感ずる次第なのです。他
 人様にはとても眼をとめて
 見て頂けさうもない平凡な
 赤ん坊ですが、私程には食
 べてしまひたい程可愛いく
 て堪らないのです。妻など
 は朝から晩まで眺め通して
 るて、尙飽くことを知らな
 い有様です。三年前に亡く
 なりました妻の母が、私共
 の長女の赤ん坊時代に、そ
 の可愛いさの情を言ひ表は
 ずために、創作した種々な
 新造話を思ひ出して、思は
 ずも微笑まれます。それは
 まるで天使をでも讚美する
 やうな素晴らしい形容詞の
 みで、他人様の前などには
 恥かしくて御披露も出来な
 いようなものでした。又私
 共の友人の奥さんが、もう
 そろ／＼小学校に上らうと
 いふ、その子供さんをとら
 へて「よち／＼よち可愛い

ね、ほんとに可愛いね」と
 人前も忘れてなめるように
 いたはつて居る姿に接して
 その夢中な母親の幸福を羨
 んだ経験もあります。詩人
 の松原至大さんは「わが子
 を見つむ」といふ文章の中
 に次の如く書いてあります。
 私の妻も子供たち一つ
 一つの生命を見てさま
 さま／＼な言葉をつかつては
 そのたまらない可愛さを
 を表現する云つても云ひ
 きれない眞實の心の響き
 が、日常使はれる言葉の
 どれにもまさつて、生き
 生きと光つてゐる。私達
 の愛の生活の最初におい
 てさへ、耳にしたことの
 ない美しい力の響きを湛
 へてゐる。しかもその言
 葉は、さまざまに選擇さ
 れて、移り變つて行つて
 より多く力を湛へ、より
 多く眞實へ歩みよつて行
 く。いつの間にか三人の
 子の母となつて
 『間に合はない』
 といふ言葉をつかひ出し
 た。
 『間に合はない。間に合は
 ない。かはいく、かは
 いく、間に合はない』
 かう云つて、私の妻は三
 人の子供にかはる／＼頰
 ずりする。
 私はその言葉を聞くのが
 楽しみである。やがてま



反抗心

鳥田 道夫

涙の間から相手を見る
 辯明無用
 強き者は沈黙を守る
 繼續：忍従：強烈な反抗は
 未來に
 人間の心を自然科学的に見
 る。愚の愚なる
 血に訴へるは易きも
 偉大なる自己の生命の尊き
 を知る
 一つの反抗を他に轉するな
 罪なき人に
 第三者として自己批判を爲
 し 後の人に：涙の反抗の
 尊さを示す
 蛙
 南 登代秋
 草むらより
 岩肌の上につつると
 雨蛙は保護色
 こいつ安らかに
 頭をあげて
 曇天を仰がうとする

初夏！
 車は走る新緑の中！
 微風のごとくスワット走る
 三井タクシーの乗心地よさ
 是非御用命の程を！
 三井タクシー
 平二・電985番

プラザ
 平曾館
 電話624

社員採用

固定給參拾圓外手當支給
 二十才以上五十五才迄
 希望者は履歴書持參本人來談
 平町鍛冶町十八
 日本商事株式平支部
 擔保貸附
 現物賣買
 公債債券

木村外科醫院

花柳病科 専門
 電話三〇九番
 平町六丁目橋際
 自炊入院の便あり

電話増設

電話二三一番 (支店長宅)
 平町三丁目
 株式
 七十七銀行平支店
 電話四一四番

電話新設

電話七一一六番
 平町長橋町新町前
 銅鐵商 清野商店

電話新設

電話七一九番
 シチトク
 平町白銀町
 お膳 新扇屋そば店
 生そば

電話開通記念

大景品付大特賣
 且つて御求めになつた事のない高級レ
 コード此際限り三枚壹圓也
 其の他有名品從來壹圓五拾錢のレコー
 ド此の際に限り壹圓貳拾五錢
 期間五月二十二日より五月三十一日まで
 漏なく景品進呈
 平町四丁目局前
 天下堂
 電話七一五番

月曜是非

御輿と青年

召喚者百廿名の大量に及んだ夏井村の御輿暴行事件は、最近に稀れな事件として注目を惹いた。而し取調べの結果は、何れも村の中心の青年であり、單に青年の血氣に起因せる脱線行爲であるの故を以つて、將來を諭され警風打破を誓つて事件の終結を見たのは、誠に當を得たる處置として同村の爲めに喜ぶ。

元氣旺盛な青年達は其の鬱勃たる英氣を何等かの機會に爆發せしめずには居られない、昔から神輿擔ぎは此の捌け口の要求に對する安全辨的役割に置かれてあつた、従つて採み抜く神輿の跳躍は、激測たる青年の元氣のシンボルとも見られて居た、而して、群集心理の凝固が盛れ上り溢れ返る勢ひを驅つて、屢々不祥な災禍を招く場合が決して少くなかつた。

強な攻め道具である、スポーツの旺盛な今日、青年が昔の若衆の慣例を追ふ事は時代錯誤である、斯かる仕業は時代の變遷と共に清算して、その弊風を一掃すべきである。

好間が率先

防空演習舉行

好間村古河炭礦在郷軍人分會では防空思想普及のため廿七日縣下各町村に率先して防空演習を晝夜にかけて舉行することになつたが晝は午後四時から敵機が同村上空に現れて第二新幹坑へ爆弾投下を假想して煙幕訓練を行ひ夜は七時半から敵機襲來して味方の飛行機と戦闘の末敵機が撃破されて墜落、火災の起きた時を假想して火災防止團二百五十餘名が出動して消火訓練並に消燈その他の防空訓練を行ふことになつたが同村の此の種の試は郡下に於て初めてのものであり今秋の縣下一圓に亘る防空演習の先驅となるため一般から興味を以つて見られてゐる尙同分會では一般の参加を希望してゐると

ない、今後若し是れを徒らに放置し、觀過する時は、夏井以上の不祥事件を惹起するに至らないとも限らない。年々採み抜く騒ぎの激化するを見て心あるものは必ず將來に一種の憂懼を抱くであらうと思ふ。

第二期工事 實現可能

四倉漁港躍進

四倉漁港第一期工事(工費四十四萬圓)は愈々十日頃竣功する見込のため同町では引續き第二期工事を二ヶ年或は三ヶ年繼續事業で續行すべしと過般來舉町一致農林省並に縣當局に猛烈な陳情を續けてゐたが最近に農林當局が大体第二期工事(工費三十萬圓見當)を認めるに至つたので狂喜してゐるが尙一層の頑張りを必要とするため今後も實現に向つて運動することになつた

二百萬圓以上の水揚高を見ることになり縣下第一の漁港となる譯である

濱通り健康代表

米倉榮子さん(一三)

平第三小學校六年生米倉榮子(一三)さんは東京朝日新聞社の健康優良兒童として學校から選ばれて申告され見事第二次選考をパスし濱通り健康優良候補者として來る廿八日縣廳に於いて表彰される事になつた

二毛作事績

審査會

石城郡農會主催二毛作事績審査會は郡内各實行組合より各一点宛の出品を見て、廿六日審査員打合せを行ふ

大楠公の例祭に

第三校忠臣講話

平第三小學校では廿五日が忠臣楠正成公の討死日に當り湊川神社で盛大な例祭が執行されるので全生徒を講堂に集め渡邊訓導が正成公の講話を行つた

學校事務打合せ

平町第一、第二、第三各小學校の事務打合せ會は廿五日日午後一時から第一校に開き六月の行事に就いて協議した

磐中柔道敗退

磐中柔道部は昨二十四日福島高商主催の關東北上等學

案内で縣下砂防工事視察のため廿五日來平、郡内上遠野村宇深山田地内砂防工事を視察、湯本町山形屋旅館一泊の上歸京する

平窪村有林

廿七日から審査會を行ふ筈であるが優良者には縣知事賞が授與される

圓滿解決す

百九十六町歩の分割問題は多年紛糾を續けて憂慮されてゐたが最近になつて漸く上平窪は六十九町歩、中平窪五十九町歩、下平窪六十八町歩、の分割協定なり圓滿解決 荒廢にまかせてゐた林野を各大字共々手入にして植林に着手することになつた

陸上競技

磐中柔道部は昨二十四日福島高商主催の關東北上等學

陸上競技

去る二十三日雨天の爲め延期された磐女のクラス對抗

陸上競技

去る二十三日雨天の爲め延期された磐女のクラス對抗

陸上競技

去る二十三日雨天の爲め延期された磐女のクラス對抗

優勝旗爭奪陸上競技は来る二十七日の海軍記念日午後一時から開催する事になつた

平青年團役員

平青年團評議員及び体育修養年團評議員は今二十五日大嶺兩部役員は今二十五日大嶺團長から左の如く指名され

磐中臨時考査

磐中の一學期臨時考査は今二十五日から四日間一齊に行れる

平職業紹介所報告

求人を求める方 回 人を求める方 給一圓

平町人事

回 出 生 回 出 生

圓前後

△梁人夫 廿才前後 給十圓

圓前後

△梁人夫 廿才前後 給十圓

△漁業雜役 卅才迄 給十圓

圓前後

△精米夫 廿五才 給六圓

圓前後

△採炭夫 四十才迄 日給一圓

圓前後

△集金員 廿四才 高卒

圓前後

△事務員 十九才 中卒

圓前後

△トラク助手 廿四 高卒

圓前後

△土工夫 卅一 高卒

△鐵工職 廿二 高卒

圓前後

△一丁目四三鈴木只義氏三女京子さん

圓前後

△東京市淺草區壽町三丁目九太田傳七氏(二六)茨城縣水戸市曲尺平川川上幸子さん(二三)

圓前後

△回 死 亡

圓前後

△田町一九須藤正男さん(一七)

圓前後

△舊城跡三〇築館實氏(一九)

圓前後

△農夫外二件 給何れを十圓

初夏の御遊覽

初夏の御遊覽

須賀川(蛇の鼻)の牡丹が満開です。日歸り遊覽團體を募集致します。期日 五月廿八日午前六時出發 會費 壹圓五十錢(御一人様) どなたも御申込下さい。

尼子自動車商會

遊覽部 電話六四〇金

海の珍客に

傘行列の異観

雨を衝く勇壯な行進曲

昨廿四日平町の軍艦木曾軍樂隊演奏會は相憎くの降雨に祟られたが同日午後一時半軍樂隊並に同陸戦隊が平町字三倉前片倉製糸會社前に堂々到着、篠つく降雨を衝いて押し寄せた熱心な觀衆注目の裡に軍樂隊々長海軍々樂兵曹長内田又藏氏の指揮の下に勇壯な軍艦マーチが吹奏され、折柄の雨の中を喇叭を先頭に海軍小尉小笠原博氏の指揮する陸戦隊員五十二名が市内を堂々本町通りから行進、在郷軍人分會員及び少年團員が是

永崎海岸で

殉職飛行士慰靈祭

木曾陸戦隊も参加して

四日嚴肅裡に舉行す

一昨年追濱札幌間飛行の途中江名町大字永崎海岸上空で機體に故障を生じ不幸墜落殉職した増田、島田兩小佐の忠烈護國は同地海岸に建設されてゐるが當時同乗して難を免がれた三浦特務中尉は今般感謝の意を表して廢兵器を寄贈忠烈護國碑の側に建設方依頼して來たので三週年に相當する昨廿四日午前十一時から盛大に慰靈祭を舉行折よく小名濱

商友會の

寄附募集に

父兄會助成

平商父兄會は昨二十四日午後一時から同校會議室に臨時總會を開き「商友會の母校新樂費寄附募集助成の件」に就いて協議したが出席者七十餘名各方面に委員を擧げ一人當り三圓以上總額千五百圓以上を募集し商友會の寄附募集を助成する事に満場一致可決した

人絹女工は

眞赤な偽り

酌婦に賣飛し

その金を横領

双葉郡大野村大字下野上字廣谷地泉田満(三)は本年二月同郡原ノ町字櫻木町儀助二女小和田ヨシノ(三)を本郡錦村の昭和和絹會社に世話すると甘言を以つて親子を詐きヨシノを平町南町カフー花月こと久田好雄方に前借百五十圓で賣飛ばしヨシノには卅圓丈け預けて残りを全部着服したのを最近になつてヨシノの手紙で驚へた儀助から半署へヨシノの保護方を願ひ出た

スハ！事故と

急行貨車が停る

原因は驛員の居眠りから

廿三日午前零時半頃水戸發平行貨物急行二五二列車が綴構内に向つて進行中驛の信號燈が消えてゐるので構内に事故でもあるのかと三分間急停車汽笛信號をした

明日のラジオ

廿六日

今晩は西北の風曇り後晴明日は北の風晴時々曇り

丸山順太郎

前七、〇一朝の修養
經疏散善義一石黒觀道
前一〇、〇一幼兒の時間
兒童劇「軍艦ゴッコ」東京
コドモ會
前一〇、三〇家庭講座
「眼鏡の話」醫學博士中村
康
後〇、〇五ラヂオオペレ
ッタ「甘い翼」桃谷演藝所
より中繼 大阪松竹少女
歌劇
後二、〇〇小學生の時間
朗讀「對話」逃げたらく
だ「東京成蹊小學校兒童
後二、四〇小學生の時間
尋五一高二 時事解説

明日の部

後六、〇〇子供の時間
ラヂオスケッチ「汽車の中」東京放送児童協會
後六、二五基礎英語講座
鹽谷榮
後七、三〇講演「守れ公
徳樂しい人生」高島米峰
後八、〇〇ラヂオコント
「交通四重奏」藤村秀夫外
後八、四五民謡組曲「な
る」

局長總會で

優良局表彰

平郵便局管内好問内郷兩局は事務成績優良局として廿四五兩日相馬中村町に開催された東部三等郵便局長總會で通信局長表彰を受けたが尙勿來、上平荷路夫植田豊間の五局は局長總裁表彰を授與された

四倉平間

臨時列車運轉

來月一日から實施
平驛は平地方の藪其の他の出荷に備へる爲め來月一日から當分四倉平間に臨時貨物列車二本を運轉する

女子和様

書道研究會

普通部 和歌
調和 紙文
高等部 (明春ヨリ設ク) 入會隨時
御申込ニヨリ略規進呈
男子ニテモ特別御希望ノ方ハ入會差支ナシ
平町十五丁目二九
(警察署前)
柳香會
中世古樵舟

軌道車に

少女轢かる

湯本町大字吹矢順三郎六女安齋己子(一〇)さんは廿四日午八時頃同町天王崎地内で内郷村磐城炭礦運輸課運轉手鷹野守(三)が運轉して湯本町より小名濱町に向け疾走中の軌道車に轢き倒され重傷一時間後に死亡した

報知支局更迭

報知新聞平支局長岡田宗治氏は今回郡山支局詰に榮轉近く赴任することに決定、後任は盛岡支局高橋壽雄氏が着任する筈

裁判一束

△双葉郡請戸村大字請戸字



(上巻)
池田播磨守は小倉庵長次郎の申し立てるを聞いて

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

一二九 證人の陳述
池田播磨守は小倉庵長次郎の申し立てるを聞いて
播「長次郎、木場の信善方より其方の持参つて金子は百卅兩か」
長「へエ左様でございます……」

引きあげましたが信善はいま／＼しい奴だ、このまゝにすておけぬとこゝで今度木場の本宅へ押しよせました、百卅兩取りましてございませぬ、その金は帳場に

ますと、御祝儀として私の召使ひ鑓藏に一步、幸三郎に一步、私が一兩頂きました、たゞ今も申しました通りこれはみな青木様のお指圖で私共はたゞお供をしたばかりでございます、何卒御慈悲をお願い申します」
かういつたは自分の罪を軽くするつもり、何事も青木に負はせる、もつとも彌太郎が平常長次郎に事が露見したならば俺にいひつけられてよんどころなや悪事を働いたといつて罪はおれにかぶせらうすれば重く

れ入つたか」
彌「一向存じませぬ」
簡單にして明瞭、播磨守はハツタといかり、青木をにらつけてゐたがやがて瀧そばの女將にむかひ
播「本所一ツ目料理店大吉屋こと瀧齋表、主人病氣につき代理として出頭いたせし妻であるな、青木彌太郎がその方のもとに集會いたしその時のさまを詳しく申し立てい」
女「申し上げませぬ、お座敷の様子はこちらに居りまする女中とその時にお酌に出ました藝者がよく存じて居りますが、一應私よりも申し上げますが、青木様は時々お遊びにお出でになりまして私共とはおなじみでございます、あの日はお馬の先生が京都か大阪へお出になるにつきお見送りの爲めに私共にお先生をつれてお出でになりました、おつれ様は三人でございますが小倉庵の親方も一緒でございます、そのほかお船でお二人ほどお出でになりましたお酌にはお二人藝者を出しましてお給仕は女中中々でございます、御祝儀は藝者には二歩づつくださいましてお給仕の女中は一歩づついたゞきました、また私共の御勘定は小倉庵の親方からいたゞきました、六ツ過ぎにお歸りでございますが……」

と、思ふ、それに戻る時直に青木の屋敷に歸るかまたはこれより他へまはるか、それらは彼等の様子によつて察したであらう、見聞のまゝ有体に申し立てる」とかうたづねた。



播「下調べのさいに申し立てしことは残りなく申せ」
長「へエ申し上げませぬ、信善へ参りましたにございませぬ、それは先日與力の高橋さんまで申し上げておきました、最初から信善へ押しよせる考へはございませぬ、深川の冬木に信善の隠居所がございましてそこに金があるといふことを聞きましたから、青木様がわたくしやまたこゝにおゐてなされる津田幸次郎様をつれて出かけましたところ、成程金はありますが、それは土藏の下からうとに入つて居ります、そのからうとには水が一杯ありましてイヤその深いこと、この水底に金をばらでしまつて置きます、さういふわけで取ることが出来ませぬ、水をかひ出してゐるうちには夜が明けませぬ、そこでむなし

あつたをわたたくしが取りました、しかしこれとても青木様のお指圖でございませぬ、その金子は如何いたした」
播「小梅に歸宅いたしました時露木の前にそれを出し

行つて江戸おかまひぐりですむだらう、といひ聞かしてある、それで長次郎がかう申し立てた、播磨守は青木に向ひ
播「何程の方が陳ずるとも長次郎が白伏いたし居ればいさぎよく罪に服せ、恐

故彼等の話も聞き及びして

市原醫院
平町・四町
電話二一四番

店主が店員を連れて行	か	正	正	正	平・田町
れる。	シ	シ	シ	レストサロン	電話三五二番
。	イ	イ	イ		
。	酒	喫	食		
。	場	茶	堂		

國旗提灯
高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集細面談・

コーコロ
掛日錢十
が掛日錢十
すで利便
是非御申込御
利用下さい。
店員参上御相
談致します。

夜間
診療
胃腸性病性
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
門 專
院醫性病胃腸村松
(番〇七一町南町平)
療

婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑士 大岩俊雄
平町新川町十九
病室完備
入院隨意
木村病院
電話一六四番

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませぬか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します
親切 料金は極めて低廉で
町導 妊産婦の御家庭 お留守 居番
御病人の付添 年寄やお子さんの付添
炊事や 雑用
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二三番)
上原家政婦會
會主産婆 上原通子